

グリーンイノベーション戦略推進会議について

令和2年6月26日

革新的環境イノベーション戦略の進捗状況

イノベーション・アクションプラン

革新的技術の2050年までの確立を目指す具体的な行動計画（5分野16課題39技術テーマ）

アクセラレーションプラン

イノベーション・アクションプランの実現を加速するための3本の柱

① 司令塔による計画的推進

グリーンイノベーション戦略推進会議（P2,P3参照）

② 国内外の叡智の結集

産総研ゼロエミッション国際共同研究センター（GZR）（1月設置）

- ✓ 吉野研究センター長の下、200人超の体制を整備
- ✓ 32件の海外連携を実施中、24件を準備中



研究・実証研究拠点の整備

- 東京湾岸官民協議会ゼロエミベイ（6月立ち上げ）
 - ✓ 100者程度の機関が参加見込み
 - ✓ 世界初ゼロエミ・イノベーションエリアへ
- 広島県大崎上島、北海道苫小牧でのCCS/カーボンリサイクル実証研究拠点



有望技術・若手研究者・ベンチャー支援強化

- ✓ 先導研究事業の開始（6月開始）
- ✓ ムーンショット事業の公募（選定中）
- ✓ 次世代研究者発掘・支援（ゼロエミクリエイターズ500）の始動（公募中）
- ✓ 有望なベンチャー企業の支援の始動（選定中）

③ 民間投資の拡大

ゼロエミ・チャレンジ 経団連チャレンジ・ゼロと連携し、戦略的に取組む企業の見える化する仕組みを秋目途で検討。チャレンジ・ゼロには、既に130を超える企業等が賛同、300を超えるチャレンジを表明（6/8時点）。

ゼロエミッション・イニシアティブズ 国際会議等を通じ、世界との共創のために発信
RD20、ICEF、TCFDサミット、水素閣僚会議、カーボンリサイクル産学官国際会議を10月に開催予定

RD20 : Research and Development 20 for Clean Energy Technologies

ICEF : Innovation for Cool Earth Forum

TCFD : 気候関連財務情報開示タスクフォース Task Force on Climate-related Financial Disclosures

グリーンイノベーション戦略推進会議の新設

- 有識者の参加を得て、府省横断で、イノベーション確立までの道筋の検証を行うなど、戦略を実行する司令塔として「グリーンイノベーション戦略推進会議」を7月7日に立ち上げる。技術の状況だけでなく、実証研究拠点、若手研究支援、民間投資の拡大等戦略全体の進捗について確認、検討するためのワーキンググループを会議の下に設置する。
(委員名簿3ページ参照)
- 39技術テーマについて、技術課題及び解決策、技術確立時期の検討、実装に向けた取り組みも含めたシナリオの例示を行い、革新的環境イノベーション戦略の具体化を図る。

グリーンイノベーション戦略推進会議

事務局：経産省、文科省、内閣府、環境省、農水省

戦略推進会議

- ◆ 座長：山地 憲治（RITE副理事長）
- ◆ 委員：15名

第1回 (7/7)	進め方、総論意見
第2回 (9月頃)	中間報告、予算方針
第3回 (12月頃)	とりまとめ

※毎年の進捗を確認、継続検討

ワーキンググループ

- ◆ 座長：関根 泰（早稲田大学教授）
- ◆ 委員：10名
- ◆ スケジュール：7月以降、**月一回程度開催**

技術課題	研究・実施体制
CCUS/カーボンリサイクル	ベンチャー・若手支援
モビリティ/水素	ゼロエミ国際共同研究センター
非化石エネルギー	次世代エネルギー基盤研究拠点
電力ネットワーク	東京湾岸イノベーションエリア
農業分野/吸収源	ムーンショット/先導研究
横断領域	カーボンリサイクル実証研究拠点
…等	地域循環共生圏
	ゼロエミチャレンジ/経団連チャレンジゼロ

成果を報告

ゼロエミッション・イニシアティブズ

- (グリーンイノベーション・サミット)
- 水素閣僚会議
- カーボンリサイクル産学官国際会議
- RD20
- TCFDサミット
- ICEF

COP26

グリーンイノベーション戦略推進会議 委員名簿（案）

座長

山地 憲治 (公財)地球環境産業技術研究機構 副理事長・研究所長

委員

石田 東生 筑波大学 名誉教授・特命教授

石塚 博昭 (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構 理事長

柏木 孝夫 東京工業大学 名誉教授・特命教授
東京湾岸ゼロエミッションイノベーション協議会会長

久間 和生 (国研)農業・食品技術総合研究機構 理事長

小林 喜光 (株)三菱ケミカルホールディングス 取締役会長

杉森 務 (一社)日本経済団体連合会 副会長・環境安全委員長

関根 泰 早稲田大学理工学術院 教授

竹内 純子 国際環境経済研究所理事・主席研究員

竹森 祐樹 (株)日本政策投資銀行
業務企画部イノベーション推進室長・業務企画部担当部長

橋本 和仁 (国研)物質・材料研究機構 理事長

佐伯 浩治 (国研)科学技術振興機構 理事

森口 祐一 (国研)国立環境研究所 理事
東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授

森本 英香 早稲田大学 法学部 教授

吉野 彰 旭化成(株)名誉フェロー
(国研)産業技術総合研究序ゼロエミッション国際共同研究センター センター長

同ワーキンググループ 委員名簿（案）

座長

関根 泰 早稲田大学理工学術院 教授

委員

浅野 浩志 (一財)電力中央研究所エネルギーイノベーション創発センター 研究アドバイザー

江崎 浩 東京大学大学院情報数理工学系研究科創造情報学専攻教授

大森 達夫 三菱電機(株) 開発本部主席技監

佐々木 一成 九州大学 水素エネルギー国際研究センター長

白谷 栄作 (国研)農業・食品技術総合研究機構 理事

手塚 宏之 (一社)日本経済団体連合会環境安全委員会
国際環境戦略WG座長

土肥 英幸 (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構
技術戦略研究センター 環境・化学ユニット長

向笠 雄介 (一財)日本経済研究所技術事業化支援センター
チーフプロデューサー
(株)日本政策投資銀行 業務企画部イノベーション推進室参事役

森 俊介 東京理科大学 名誉教授

※関係機関（内閣府、文科省、環境省、農水省、経産省、国交省、NEDO、NARO、JST、産総研）については、戦略会議ではオブザーバー、ワーキンググループは委員
※ワーキンググループはテーマに応じた臨時専門委員を追加予定

革新的環境イノベーション戦略のポイント

- 非連続なイノベーションにより社会実装可能なコストを可能な限り早期に実現することが、世界全体でのGHGの排出削減には決定的に重要。
- 世界のカーボンニュートラル、更には、過去のストックベースでのCO₂削減（ビヨンド・ゼロ）を可能とする革新的技術を2050年までに確立することを目指し、パリ協定長期成長戦略に掲げた目標に向けて社会実装を目指していく。

イノベーション・アクションプラン	アクセラレーションプラン	ゼロエミッション・イニシアティブズ
<p>革新的技術の2050年までの確立を目指す具体的な行動計画（5分野16課題）</p> <p>①コスト目標、世界の削減量、②開発内容、③実施体制、④基礎から実証までの工程を明記。</p> <p style="text-align: right;">□ : GHG削減量 ◆ : 代表的な技術例</p> <p>I. エネルギー転換 約300億トン～</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 再生可能エネルギー（太陽、地熱、風力）を主力電源に ◆ 低コストな水素サプライチェーンの構築 ◆ 高効率・低コストなパワーエレクトロニクス技術等による超省エネの推進 <p>II. 運輸 約110億トン～</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ グリーンモビリティ、高性能蓄電池等による自動車（EV、FCEV）等 ◆ バイオ燃料航空機 <p>III. 産業 約140億トン～</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 水素還元製鉄技術等による「ゼロカーボン・スチール」の実現 ◆ 人工光合成を用いたプラスチック製造の実現 ◆ CO₂を原料とするセメント製造プロセスの確立／CO₂吸収型コンクリートの開発 <p>IV. 業務・家庭・その他・横断領域 約150億トン～</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 温室効果の極めて低いグリーン冷媒の開発 ◆ シェアリングエコノミーによる省エネ／テレワーク、働き方改革、行動変容の促進 <p>V. 農林水産業・吸収源 約150億トン～</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ブルーカーボン（海洋生態系による炭素貯留）の追求 ◆ 農林水産業における再生可能エネルギーの活用&スマート農林水産業 ◆ DAC（Direct Air Capture）技術の追求 	<p>イノベーション・アクションプランの実現を加速するための3本の柱</p> <p>①司令塔による計画的推進</p> <p>【グリーンイノベーション戦略推進会議】 府省横断で、基礎～実装まで長期に推進。既存プロジェクトの総点検、最新知見でアクションプラン改訂。</p> <p>②国内外の叢智の結集</p> <p>【ゼロエミ国際共同研究センター等】 G20研究者12万人をつなぐ「ゼロエミッション国際共同研究センター」、産学が共創する「次世代エネルギー基盤研究拠点」、「カーボンリサイクル実証研究拠点」の創設。「東京湾岸イノベーションエリア」を構築し、産学官連携強化。</p> <p>【ゼロエミクリエイターズ500】 若手研究者の集中支援。</p> <p>【有望技術の支援強化】 「先導研究」、「ムーンショット型研究開発制度」の活用、「地域循環共生圏」の構築。</p> <p>③民間投資の増大</p> <p>【グリーン・ファイナンスの推進】 TCFD提言に基づく企業の情報発信、金融界との対話等の推進。</p> <p>【ゼロエミ・チャレンジ】 優良プロジェクトの表彰・情報開示により、投資家の企業情報へのアクセス向上。</p> <p>【ゼロエミッションベンチャー支援】 研究開発型ベンチャーへのVC投資拡大。</p>	<p>国際会議等を通じ、世界との共創のために発信</p> <p>グリーンイノベーション・サミット 内閣総理大臣の下に、産業界、金融界、研究者のトップを集め、我が国の具体的な取組を世界に共有。国際的なエンゲージメントを強化。</p> <p>RD20 グリーンエネルギー技術分野におけるG20の研究機関のリーダーを集める研究機関主体の国際会合。</p> <p>TCFDサミット 「環境と成長の好循環」を実現していくため、世界の企業や金融機関のリーダーを集めて対話を促す国際会合。</p> <p>ICEF 技術イノベーションによる気候変動対策を協議する国際会合。</p> <p>水素閣僚会議 グローバルな水素の利活用に向けた政策の方向性について議論。</p> <p>カーボンリサイクル産学官国際会議 カーボンリサイクルの実現に向けて、各国の革新的な取組や最新の知見、国際連携の可能性を確認するとともに、各国間の産学官のネットワーク強化を促進。</p>